

第2次豊川市生涯学習推進計画

(人がまちを創る まちが人をはぐくむ)

(案)

豊 川 市

はじめに

平成16年3月に中央教育審議会生涯学習分科会より「今後の生涯学習の振興方策について」の審議経過の報告がなされ、生涯学習を振興していく上で今後重視すべき観点として 国民全体の人間力の向上 生涯学習における新しい「公共」の視点の重視 人の成長段階ごとの政策の重点化 国民一人ひとりの学習ニーズを生かした、広い視野に立った多様な学習の展開等 ITの活用の5つが提案されました。また、今後重点的に取り組む分野として 職業能力の向上 家庭教育への支援 地域の教育力の向上 健康対策等高齢者への対応 地域課題の解決の5つが示されました。

その上で、今後の関係機関・団体等の活動の活性化の方策や、それを支えるための国、地方公共団体の役割等の一定の方向性が示され、生涯学習という観点でみた場合の学校教育の在り方や、青少年教育、男女共同参画社会の形成の促進も、今後十分議論していくべき非常に重要な課題であるとの意見が出されました。

本市における生涯学習推進計画は、平成9年3月に策定の後、平成14年3月改訂を経て、現在に至っています。この間、少子高齢化、高度情報化、国際化の進行、新学習指導要領の完全実施及び学校週5日制など社会を取り巻く環境も大きく変化しており、平成18年2月には宝飯郡一宮町との合併、同年3月には第5次豊川市総合計画の策定等がありました。

こうした社会情勢と教育環境の変化に対応できるよう、計画の見直しが必要となり、第5次豊川市総合計画の中で位置づけられた本市の将来像「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を実現するために、今後の生涯学習振興の指針となる第2次豊川市生涯学習推進計画を策定いたしました。

まちづくりを進めていくうえで、市民と行政との連携、協働は一層重要になってきます。そのためにも、人づくりは、不可欠なものであり、生涯学習の果たすべき役割は大きいといえます。

本計画に基づき、関係機関・団体・地域と連携しながら、「豊かさを感じることのできる生涯学習のまち」をめざして、関係施策を推進してまいります。

平成 年 月

豊川市長 中野勝之

目 次

はじめに

第1章 第2次生涯学習推進計画策定にあたって	1
1 生涯学習の基本的な考え方	1
(1) 生涯学習とは	1
(2) 生涯学習を取り巻く環境の変化	1
2 生涯学習推進の取り組み	2
3 豊川市における生涯学習の現状	3
(1) 市民アンケートより	3
(2) 前生涯学習推進計画の主要な施策の実施状況及び課題	4
(3) 生涯学習推進計画に基づく施策の進捗状況	8
第2章 生涯学習推進計画の骨格	9
1 計画の位置づけ	9
(1) 性格	9
(2) 計画期間	9
(3) 計画内容	9
2 基本理念	10
3 基本目標	11
4 基本方針	12
5 施策の体系図	13
第3章 生涯学習推進施策	15
1 学習機会の充実を図る	15
(1) ライフステージに対応した学習機会の整備・提供	15
(2) 地域生涯学習講座の展開	20
(3) 高等教育機関等との連携	21
2 学習成果の活用と人材育成を推進する	22
(1) 学習成果の評価	22
(2) 指導者の養成	23
(3) 生涯学習を支援するボランティア体制の整備・充実	24
(4) 人的ネットワークづくりの支援と活用	24
3 学習関連施設の整備・活用を図る	26
(1) 施設の整備	26
(2) 民間施設・学校施設の活用	28
4 学習情報システムを構築する	29
(1) ITを活用したネットワークの構築	29
(2) 生涯学習情報の収集・整理・提供	30

5 生涯学習推進体制の機能強化を図る	3 2
（ 1 ） 行政における推進体制の充実	3 2
（ 2 ） 生涯学習関連団体の育成	3 3
（ 3 ） とよかわカレッジ（仮称）構想	3 3

参考資料

（ 1 ） 生涯学習に関する市民アンケート報告書	3 6
（ 2 ） 生涯学習推進計画に基づく施策の進捗状況	6 2
（ 3 ） 市域生涯学習関連事業実施状況（平成17年度実績）	6 7
（ 4 ） 生涯学習推進計画策定委員会設置要綱	6 8
（ 5 ） 生涯学習推進計画策定委員会委員名簿	6 9
（ 6 ） 生涯学習推進計画策定の経緯	7 0
（ 7 ） 用語の説明	7 1